

# モニターレポート(1月報告)

## 【報告内容①】

松浜から横雲橋の左岸右岸を車で巡回しました。1月の毎日の厳しい寒さで阿賀野川河川敷は、田んぼ・草木の枯れた黄土色の世界です。今年は積雪が少ないので水量も少なく、橋の真ん中下に砂地が出ていました。

ほかには胡桃山出張所近くの工業団地近辺の道わきに、ゴミの投棄、ゴミを燃やした後が数カ所見られました。

## 〈事務所からのコメント〉

ご報告のように、河川敷には例年であれば積雪のため隠れて見えていなかったゴミなどが捨てられているのを河川パトロールでも確認しています。ゴミを堤防や河川敷に捨てるのが、自然環境を損なうことだと認識していないように思われ、非常に残念なことであり、止めていただきたい行為です。

## 【報告内容②】

冬期間の公園は人が少なく寒々としています。阿賀野川床固め公園はすぐに川を見渡せるので、川の観測には絶好の場所です。大きな漂流物も不法投棄のゴミもありませんでした。

公園内は殺風景でした。公園の入り口に山茶花が植えられているだけです。公園にしては緑が少ないのが残念です。鳥も一羽だけしか観測できませんでした。

## 〈事務所からのコメント〉

一昨年のは年末は積雪がありましたが、昨年の12月は雪ではなく雨が降り続いているなど、気候の変動が大きく感じられます。

冬の阿賀野川は、河川敷の公園にも田畑にも人が少なくなり、静かな時間が過ぎていきます。

※複数のモニター報告を要約してあります。

### 【報告内容③】

阿賀町が「阿賀野川ライン舟下り航路」を復活させることを決議したという。2011年7月の豪雨で川底に堆積した土砂を浚渫するのだそうである。「川は生きている」と実感しますし、「人と川の闘い」とも思います。

水墨画のような阿賀野川です。川沿いは、SLばんえつ物語号も走っています。美しい風景は生きる勇気を与えてくれます。

### 〈事務所からのコメント〉

「阿賀野川ライン舟下り」は、阿賀町白崎にある乗船場が現在閉鎖中のため、阿賀町石間にある「道の駅阿賀の里」を出発し、また戻ってくる周遊コースで運航されています。

白崎の乗船場がまた使えるようになり、舟下りが再開すれば、観光にも貢献し、地域の発展にもつながると思いますし、また、阿賀野川の自然を多くの人に楽しんでもらえればと思います。

### 【報告内容④】

「阿賀に生きる」上映会についてご報告します。

新潟水俣病が発生した阿賀野川流域の人々の暮らしを描いたドキュメント映画「阿賀に生きる」が上映された。「阿賀に生きる」は、1992年の公開。新潟水俣病の未認定患者らが、船大工として働いたり、サケ漁をしたりして暮らす姿を描いている。去年は全国からの募金約200万円を元にフィルムが作り直され、各地で上映会が開かれている。

### 〈事務所からのコメント〉

「阿賀に生きる」の映画の情報をいただきました。

この映画は、ご報告にあるようにドキュメンタリー映画となっています。スイスニヨン国際ドキュメンタリー映画祭など様々な映画祭で最高賞を受賞した映画としても知られていると承知しています。

阿賀野川周辺に住む人々が、阿賀野川の自然をいかに大切にしていたかを垣間見ることが出来ます。これからも治水との調和を図りながらですが、阿賀野川の自然を大切にしていきたいものです。

※複数のモニター報告を要約してあります。